



広報

さつま

—ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町—

2024

3

No. 228

春を告げるささ福かざり

関連3ページ



綱引大会で10チームが大熱戦

2月11日、鶴田体育館で町綱引大会が行われました。3部門に10チームが参加した今回は、各部門で激戦が繰り広げられ、熱の入った応援が響きました。町では毎年2月に大会を実施しています。興味のある方はぜひ挑戦してみてください。

- ▶小学生280kg以下の部 優勝 佐志っ子「オールスターズ」
- ▶小学生フリーの部 優勝 ごんげんファイターズ
- ▶一般男女混成の部 優勝 I Love ときよし



力を合わせて懸命に綱を引きました

ふるさと体験塾で紙漉き体験

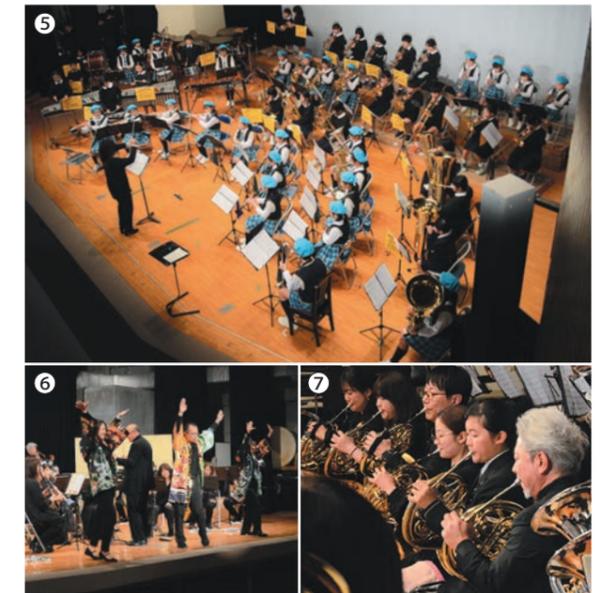
1月27日、神子地区の鶴田手漉和紙工房で、ふるさと体験塾が行われ、塾生16人が紙漉きを体験しました。参加者は、県の伝統的工芸品である鶴田和紙の歴史や製法を学んだ後、すげと呼ばれる器具を縦横に揺らして紙を漉き、ついたてを作りました。塾生からは「均等に漉くのが難しかったけど楽しかったです」「作り方を初めて知りました。もう一度してみたいです」などの感想がありました。



紙漉きを教える同工房4代目の野元政志さん(左)

音楽の祭典に吹奏楽経験者が集結

1月28日、宮之城文化センターでみやんじょ吹奏楽フェスタが行われ、約600人が来場しました。鶴田小学校、盈進小学校、薩摩中央高校の吹奏楽部や宮之城吹奏楽団、本町にゆかりのある吹奏楽経験者約160人が出演し、合同演奏ステージなどを披露。最後は「ふるさと」を演奏し、出演者と観客全員で合唱しました。東京都から妻と次女の3人で参加した久保慶二さんは「地元で演奏できて楽しかったです。来年は、吹奏楽をしている三女と四女も連れて参加したいです」と話しました。



- ① 鶴田小学校吹奏楽部は麦わら帽子をかぶりアニメの主題歌を披露
- ② かわいらしい衣装を身にまとい演奏する盈進小学校吹奏楽部
- ③④ 宮之城中学校吹奏楽部は大河ドラマ「西郷どん」のテーマ曲を演奏
- ⑤ 初の試みとなった鶴田・盈進小学校吹奏楽部による合同演奏
- ⑥ 宮之城吹奏楽団はマツケンサンバIIをダンスと共に披露しました
- ⑦ 薩摩中央高校吹奏楽部、宮之城吹奏楽団、吹奏楽経験者の合同演奏

初市 商店街が鮮やかににぎわう

2月7日、盈進小学校前町道で宮之城初市が行われました。露店商や宮之城人形の販売のほか、宮之城屋地・虎居商店街を中心に100円で野菜やお菓子を売る百縁祭や、軽トラックの荷台で野菜を売るみやんじょ軽トラ市が開かれ、多くの買い物客でにぎわいました。また、同日から17日まで宮之城屋地・虎居商店街でさつまのささ福かざりが展示され、町内外から多くの見物客が訪れました。



盈進小学校前にはたくさんの露店が並びました

大谷翔平選手がグローブを寄贈

1月18日、野球選手としてアメリカ大リーグで活躍する大谷翔平選手が、町内の小学校へグローブを贈りました。大谷選手は「次世代に夢を与え、勇気づけたい」と思いを込め、全国の小学校に3個ずつ寄贈。グローブと共に「野球しようぜ」というメッセージも添えられていました。求名小学校6年の上井希美さんは「グローブにサインが書いてあってかっこいいと思いました」と話しました。



寄贈されたグローブで早速キャッチボールをしました



今年の干支である辰をモチーフにしたささ福かざり



初市会場を彩る伝統の宮之城人形



新しく整備された遊具

公園の遊具をリニューアル

宮之城運動公園の遊具が新しくなりました。老朽化が進み、危険な状態だった遊具を更新するため、昨年9月から工事を開始。古くなった遊具を撤去して滑り台やクライミングウォールなどで遊べる複合遊具を設置したほか、遊具周辺の地面を人工芝に変え、公園を囲う柵も更新しました。近くに来た際には、ぜひ新しくなった遊具で遊んでみてください。公園のマップ▶



ウェイトリフティングで九州3位

1月21日、熊本県で全九州高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会が行われ、女子64kg級に出場した薩摩中央高校1年の川口映美さんが3位入賞を果たしました。川口さんは「今大会では緊張で1回失敗してしまったのが反省点です。これからは、インターハイの基準記録を突破して自己記録を更新できるように頑張りたいです」と今後の抱負を語りました。



賞状とメダルを手にする川口さん

本町で県まちゼミフォーラム開催

1月24日、うましき里きららの楽校で県まちゼミフォーラムが開催されました。まちゼミは、お店の方が講師となって様々な分野の知識を教える無料の講座で、県のフォーラムが本町で開催されるのは今回が初めて。県内各地のまちゼミの代表者がミニ講座を開き、全国から集まったまちゼミ事業者と意見交換を行いました。さつまdeまちゼミの内喜彦実行委員長は「多くの方に来ていただき、町の未来につながる出会いができました」と話しました。



伊佐まちゼミによる「初めて触れるウクレレ&演奏体験」



地域ブランド「薩摩のさつま」の取組を紹介します。



←ホームページ



←Instagram

新たに9品を認証しました

1月18日、役場本庁で認証品発表会を行い、新たに9品を認証しました。これで合計28事業者42品を認証。今回認証されたパワー味噌を生産するさつもの味の堂園幹子さんは「認証されてうれしいです。これから販売を頑張ります」と話しました。



博多でさつま町の特産品をPR

1月20日、福岡県の博多エキナカ・マイング広場で、南の宝箱鹿児島さつま町マルシェが開催され、町観光特産品協会、小牧醸造株式会社、農事組合法人梅香丘が出店しました。町観光大使かぐや姫の左近允杏奈さんも参加して本町の特産品をPR。会場を訪れた甬立愛歩さんは「お気に入りの梅干しを買うことができうれしいです」と話しました。

学生目線で認証品を磨き上げ

1月16日、役場本庁で鹿児島大学法文学部自治体政策論ゼミの学生が、認証事業者との連携の成果を発表しました。学生は、茶節と桑青汁のパッケージについて、現状や課題を分析して新たなデザインを提案。認証事業者は、今回作成したパッケージを活用し、認証品の売上増加を目指します。



えんじょいんふえす大盛況

2月11日、日特WKS公園でえんじょいんまつま主催のえんじょいんふえすが開催されました。雑貨店や飲食店など43店舗が並ぶ縁日マルシェコーナーのほか、ダンスやマジックショーなどのステージ発表が行われ、約3,500人の来場者でにぎわいました。また、メインイベントの大声コンテストでは、参加者が豪華賞品を目指して思い思いの言葉を絶叫し、観客を沸かせました。



ずらりと並んだキッチンカーに行列ができました



塩田康一県知事(中央左)から表彰状を受け取った満園美俊会長(右)

きらら協議会が県から表彰

2月1日、かごしま県民交流センターで行われた県コミュニティづくり推進大会で、うましき里きらら協議会が県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体奨励賞を受賞しました。同協議会は、うましき里きららの楽校の運営を通して地域と連携しながらイベントなどを開催。町内外の交流促進に努めたことが評価されました。今後も地域振興に向けたさらなる活躍が期待されます。

▶ 原子力防災訓練で災害に備える

2月10日、国や県、関係市町と関係機関が合同で県原子力防災訓練を行いました。本町では、災害対策本部設置訓練のほか、原子力施設の緊急事態時に薩摩川内市に設置されるオフサイトセンターへの要員派遣訓練、日特WKS公園での広報訓練などを実施。また、久富木地区の住民を対象とした避難訓練を行い、避難先である鹿児島市へ実際に避難しました。関係機関との連携強化や地域住民の防災意識の向上につながる訓練となりました。



災害情報を集約し、対応の意思決定を行う町災害対策本部



自治体職員や警察官、自衛官などが緊急対応を行うオフサイトセンター



原子力災害時の避難の流れについて研修を受ける久富木地区の参加者

▶ 文化センター整備について意見書を提出

1月12日、町文化施設整備委員会が、町に宮之城文化センターの大規模改修を提言する意見書を手渡しました。同委員会は、関係団体の代表者と建築学有識者で構成され、昨年1月から老朽化した同センターの整備の方向性について協議を重ねてきました。昨年10月に町民2千人を抽出して行ったアンケートでは、約66%が大規模改修もしくは必要最小限度の改修を希望すると回答。これらを受け、町では同センターの大規模改修に向けて整備を進めていきます。



左から上野俊市町長、市来浩二会長、川内優子副会長

▶ コミュニティ助成事業で手袋を整備

町では、宝くじの社会貢献広報事業として宝くじ収益を財源とし、区公民館や消防団などの備品整備に対して助成を行うコミュニティ助成事業を活用しています。今回は、町消防団が助成を受け、手袋350双を購入。金属やガラスの破片から手を守るこの手袋は、災害現場で安全にがれきなどの撤去作業が行えるよう、各団員に配布されます。井手原清美消防団長は「多様化する現場活動に備え、団員が安全に活動できるように整備を進めていきたいです」と話しました。



今回整備した手袋を持つ井手原消防団長

町女性大会に約200人が参加 食文化を伝え継ぐ大切さを学ぶ

1月21日、薩摩農村環境改善センターで町女性団体連絡協議会主催の町女性大会が開催されました。フィットネススタジオ響による元気いっぱいダンスに始まり、NPO法人霧島食育研究会の千葉しのお理事長が「食べ物と心～食が伝える思いと命～」と題した講演を行いました。会場の入口では、子育て支援団体HANDによる子ども用品の譲り合いイベントが行われ、事前に集めた子ども服などを希望者に配布。また、子どもの成長と共に着られなくなった服などを回収し、次回の開催につなげました。



食の大切さを子どもに伝えることの重要性を説く千葉理事長



環境にも家計にも優しい子ども服の譲り合い



フィットネススタジオ響に通う36人がダンスで魅了

▶ かがしまエコファンド制度

かがしまエコファンド制度は、事業者などが自発的にCO2排出削減を促進するため、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、自主的に削減努力を行い、削減が困難な排出量を森林整備で実現した温室効果ガスの吸収量（クレジット）の購入により埋め合わせをする制度です。本町は、令和2、3年度に行った88.04haの間伐により新たに639tの追加クレジットの認証を受け、販売しています。この制度を利用することで、環境企業として貢献していることをアピールでき、クレジット購入代金で地元の地球温暖化対策に貢献できます。

今回は、次の事業者にクレジットを購入していただきました。クレジット代金は、町有林の森林整備や公共施設等の照明のLED化などの地球温暖化対策に活用します。

- ・株式会社中村建設
- ・株式会社日拓



☎ 耕地林業課 林業振興係 ☎ (0996) 24-8949

▶ 町長と町の未来について意見交換

1月29日、永野交流館で町長と語る会を開催しました。同会は、町長が町民から直接提案や意見を聴き、語り合いながら町の未来を考え、町民参加のまちづくりを進めることを目的に実施。今回は、永野地区のサン・スマイルクラブと公民館の在り方などについて意見交換を行いました。同クラブ代表の木下敬子さんは「町長とざっくばらんに話すことができ良かったです」と話しました。町長と語る会は、町内で活動している団体を対象に随時受け付けています。

☎ 企画政策課 広報文書係 ☎ (0996) 24-8919



上野俊市町長（左）とサン・スマイルクラブの皆さん



みやのはら としさと
宮之原 敏悟 さん (43)

鶴田地区出身。22歳のときから家業の林業に携わり、現在は父と弟の3人で営む。33歳のときにわな狸の免許を取得。山や田畑を荒らす有害鳥獣を捕獲している。捕獲した動物の多くを自ら解体・調理しており、2人の息子は宮之原さんが振る舞うシカ肉料理が大好き。



林業
×
宮之原敏悟

▼本町の面積の約7割を占める森林。木材やタケノコ、キノコなど豊富な資源をもたらしませんが、適正な管理には多くの労力と専門的な技術が不可欠です。鶴田地区で林業を営んでいる宮之原敏悟さん。竹山では土中のタケノコを掘り当て、針葉樹林ではチェーンソーを操り大小様々な木を切る山のエキスパートです。

▼子どもの頃から、林業を営む父に連れられ、山で仕事を手伝いながら遊んで過ごしたと話す宮之原さん。「秘密基地作りや木登りをして遊んでいました。今でも仕事で木に登ることがあるので、当時の経験が生かされています」と笑います。現在は建材として用いられるスギやヒノキ紙の原料となるカシヤシイを切つて木材市場に出荷しているほか、一部の木を間引いて材木の成長を促す間伐も行っています。良い木を収穫するには、間伐などの山の管理が必要だと話す宮之原さん。管理を続けるための安全な作業道作りにも力を注いでいます。「いい加減な道を作ってしまうと、崩れて土砂災害の原因になることもあります。林業は何十年というスパンで山を管理していくことになるので、安全で作業がしやすい道を作ることが大切なんです」と話します。

▼近年数を増やし続け、農作物などへ甚大な被害を与えている有害鳥獣。宮之原さんは、猟友会の捕獲隊員としてわなでイノシシやシカを捕獲しています。「自分の山のシイタケやタケノコを守るために始めましたが、今では町内各地から依頼が来ます。隊員の中では若手なので積極的に頑張りたいです」と意気込みます。

▼「将来は山小屋を建ててのんびり暮らしたいですね」と話す宮之原さん。山と共に生きる姿は、自然とのつながりの大切さを教えてくれます。



足を狙って捕獲する自作のわな。動物の生態や習性を研究し、踏み出す場所を予想して仕掛けます。



自身の山で栽培している原木シイタケ。11～3月頃にかけて収穫し、特産品販売所などに卸します。



持続可能なまちづくり

SDGs かるたアプリを制作しました



SDGs かるたアプリ「さつま町かるた大作戦～SDGsの17のミッションクリアなるか～」を制作しました。本町の児童生徒に配布されているタブレットに導入し、気軽に遊んでもらうことでSDGsの理解促進を目指します。

アプリの特徴

かるたの読み札には昨年度実施した「SDGs 標語コンテスト」の応募作品を採用し、さつま町の特徴を生かした内容になっています。読み札と解説文は全て音声で読み上げ、コンピュータとの対戦や友達対戦で、いつでも、どこでも、だれとでも遊べます。



制作

制作には鹿児島市の小学生から専門学校生が携わっています。プログラミングスクール「アイディーAdventure 鹿児島中央校」の生徒がプログラミングを担当し、総合学園ヒューマンアカデミー鹿児島校の生徒がデザインや音声吹き込みを担当しました。



かるたアプリ制作の様子

ダウンロードはこちらから

各アプリストアで「さつま町かるたアプリ」と検索していただくか、下の二次元コードからもダウンロードできます。



App Store



Google Play



Microsoft Store



かるたアプリの引渡し式を行いました

2月15日、鶴田小学校でかるたアプリの引渡し式を行いました。SDGs 標語コンテスト小学生の部で最優秀賞に輝いた3年の井上澄美さんが代表でありさつし、式典後のアプリ体験会では、参加者同士で対戦。西井田泰聖さんは「友達と対戦できて楽しかったです」と話しました。



大人にも負けなよ!

図書館へ行こう

おすすめの新着本

こども図書館
～えほんの森～



かえましてん
著 / べかたろう
KADOKAWA

この写真はモモ？それともリンゴ？どっちかな？いつもの食べ物違う視点から見ることで新しい発見があり、食に親しめる食育絵本です。

鶴田中央
公民館
図書室



**サブリティに
栄養がとれる副菜101**
著 / 牛尾 理恵
主婦と生活社

屋地
楽習館
図書室



**あなたの目に
私は映らない**
著 / 腰山 ひとみ
文芸社

こんな本もあります

本を読むことは好きですか？文字がたくさん並んでいる本はちょっと苦手…。そんな方には『LLブック』をおすすめします。

📖 とっても読みやすいLLブック

LLは、スウェーデン語で「分かりやすい」を意味する「LättLäst」の略です。「子ども向けの本？」と思われがちですが、写真や絵文字、ふりがなも付いていて、年齢に関係なく文字が読みづらい人や、日本語が得意でない人でも読みやすいように工夫されています。興味のある方は職員までお声掛けください。

ぶんぶくちゃがま

ぶん / あかぎ かんこ
え / なかがわ だいすけ
埼玉福祉会



文章に絵文字が付いています

▶ こども図書館～えほんの森～ ☎ 57-1202 ▶ 屋地楽習館図書室 ☎ 53-1994 ▶ 鶴田中央公民館図書室 ☎ 53-1111 (内線4412)
▶ 休館日 【3月】11日、17日、25日 【4月】1日、8日、15日、21日、30日

こんにちは
保健師です

子どもとメディア②



広報さつま1月号では、スマートフォンなどのメディア機器が身近になり、子どもの生活に大きな変化が起きていることを紹介しました。今回は、子どもがメディア機器を使うと目にどのような影響を及ぼすのか、知識と対策を紹介します。

乳児～幼児期は目の機能が発達するととても重要な時期

目には、「目の前の物を見る力」以外に「見たい物にピントを合わせる力（調節反応）」や「物を立体的に見る力（両眼視機能）」など様々な機能があり、乳児期から幼児期にかけて発達します。調節反応の発達は、生後2か月頃から始まり、4か月頃に正確になります。そして、10か月頃には大人と同じ反応が見られるようになります。また、左右の目で同時に見て遠近感をとらえる両眼視機能は、3～5か月頃から急速に発達し、4歳頃に大人と同じレベルに達します。

メディア機器を見続けると目にどんな影響があるか

近年、低年齢から物が二重に見える複視になったり、近視が進行したりする子どもが増えていることが分かっています。複視は、瞳が内側を向く急性内斜視によって引き起こされます。幼児期の急性内斜視は、自覚できずに発見が遅れることがあり、放置すると立体感覚が育たなくなる恐れがあります。また、低年齢から近視になると急速に進行し、大人になる頃には目から十数センチくらいの距離しかはっきり見えない強度の近視になる可能性が高くなります。強度の近視になると、緑内障や網膜剥離などの発症リスクが高まります。

2019年には、WHO(世界保健機関)から「2～4歳の子どものメディア機器の使用は1日1時間を超えないようにすること」、「2歳未満はテレビやメディア機器を視聴させないことが望ましい」というガイドラインが出されています。

子どもがメディア機器を使用する時に気を付けること

- ▶ 4歳までは可能な限りメディア機器を触らせない・見せない
- ▶ 目と画面の間隔を30cm以上空ける
- ▶ 長時間連続してメディア機器を使わない
- ▶ 30分連続でメディア機器を見たときは5～10分休憩する
- ▶ 休憩時には窓から外の景色を見る
- ▶ 就寝前はメディア機器を使わない



最近の研究で、屋外の明るい環境で過ごす時間が長い子どもほど、近視になりにくいことが分かっています。長時間近くを見続ける場合でも、1日2時間外遊びをする子どもは、近視が進みにくいというデータもあります。保護者の負担にならない範囲で、外遊びの時間を作ることが大切です。

問 子ども支援課 子育て支援係 ☎ (0996) 24-8940

知ってトクする！ 第118回 消費生活講座

偽物が届くネット通販トラブル

代引き配達には特に注意

「公式サイト」「正規品」と思って注文したはずが、届いた商品は偽物だったという相談が多く寄せられています。特に代引き配達には注意が必要です。

偽物が届く通販サイトの特徴

- ▶ 販売価格が大幅に値引きされている。
- ▶ 日本語の字体や文章表現がおかしい。
- ▶ 販売業者の情報が表示されていない。表示されていても、うそや無関係の情報が表示されている。
- ▶ 代引き配達しか選択できない。クレジットカード決済を選択したのに一方的に代引き配達に変更されてしまう。
- ▶ 送り状の依頼人が販売業者と異なっている。

代引き配達の注意点

- ▶ 送り状の依頼人を確認し、身に覚えがなければ受け取りを拒否できます。
- ▶ 家族が代理で受け取る場合、受取人に確認してから代金を支払いましょう。
- ▶ 代引き配達で宅配業者に代金を支払った後は、宅配業者からの返金は困難です。
- ▶ 事前に販売業者の情報を確認し、不審に感じたら注文しないようにしましょう。



困ったらすぐにご相談ください

相談窓口 (相談無料・秘密厳守)
商工観光PR課 商工振興係
☎ (0996) 26-1849

土日の相談は消費者ホットライン
☎ 188 泣き寝入りはいややへ

くらしの情報

環境にも家計にも優しい

企画政策課 地域振興係 ☎ (0996) 24-8917
町民環境課 環境係 ☎ (0996) 24-8928

エネルギーの節約術



出典 環境省

町では、再生可能エネルギーの活用やSDGs、脱炭素の推進といった社会的背景を踏まえ、昨年3月に「さつま町地方創生に向けた地域エネルギービジョン」を策定しました。このビジョンを町民の皆様に周知し、暮らしに役立てていただくため、セミナーなどを行っています。今回は、電力の使い方と自動車運転にスポットを当てて、お役立ち情報を紹介します。

協力：九州電力株式会社、鹿児島トヨタ自動車株式会社

電力

冷蔵庫の設定温度は適切に



一年中設定温度を「強」にしておく必要はありません。部屋の温度や状況に合わせて「中」か「弱」にしましょう。節電モードの機能があれば設定しましょう。

POINT 家族構成や使い方に合わせて

冷蔵庫の消費電力は特に冷凍室の大きさに影響されます。買い替えるときは、生活様式に合ったサイズや使い勝手を考慮して選びましょう。年間の消費電力量や節電機能もチェック！

LED電球で省エネ



白熱電球からLED電球に換えることで、消費電力は約1/5～1/7、寿命は約40倍になります。
※製品によって異なります

省エネはエネルギー資源の節約になりCO2排出量の削減や家計の節約につながります。九州電力のパンフレットで電気の使い方、選び方、見える化、住宅リフォームなどを紹介していますので、ご覧ください。



自動車

エコカーで燃費を節約



ハイブリッド車は、ガソリン車に比べて初期費用は高いですが、維持経費が安い、緊急時に電化製品に給電できる、エコカー減税や購入補助があるなどのメリットがあります。他にもプラグインハイブリッド車、電気自動車などがあり、ガソリン車よりもCO2を大幅に削減できます。

トヨタ ヤリスXで燃費を比較

ガソリン180円/Lで1万km走った場合のガソリン代
ガソリン車：21.3km/L **84,507円**
ハイブリッド車：36.0km/L **50,000円**

※燃費はメーカー記載による

エコドライブの3つの基本



- ・ふんわりアクセルで発進
 - ・無駄な加速・減速を控えて一定速度をキープ
 - ・早めにアクセルを戻して緩やかに減速
- 急発進、急停止をしないように心掛けましょう

令和5年度から電気自動車などの脱炭素に貢献する設備・機器の導入を補助するゼロカーボン推進事業を行っています。令和6年度以降の取組はホームページなどでお知らせします。

お知らせ

本籍地以外の市区町村窓口で戸籍謄本などを取得できます

3月1日から、本町に本籍がない方でも役場の窓口で戸籍謄本などを取得できるようになりました。

■取得できる証明書

- ・戸籍全部事項証明書（謄本）
- ・除籍全部事項証明書（謄本）
- ・改製原戸籍謄本

※一部事項証明書、個人事項証明書、コンピュータ化されていない一部の戸籍謄本・除籍謄本は対象外です。

■取得できる人

- ・本人、配偶者
- ・父母、祖父母などの直系尊属
- ・子、孫などの直系卑属

■手続き場所

町民環境課町民係、両支所町民福祉係

※郵送や代理人による請求はできません。

■手続きに必要なもの

マイナンバーカードや運転免許証など顔写真付きの公的証明書

コセキツネ



○お問い合わせ先

町民環境課 町民係
☎ (0996) 24-8927

1月の火災・救急

■火災	建物火災	1件
	林野火災	0件
	車両火災	0件
	その他火災	0件
■救急	出動	124件 117人
	急病	73件 68人
	交通事故	5件 5人
	その他	46件 44人
	■ドクターヘリ	要請
	運んだ人	0人

○お問い合わせ先

町消防本部
☎ (0996) 52-0119

■日時 3月19日(火) 午前9時～午前11時30分

■会場 町シルバー人材センター

■対象者 60歳以上の町民

○お問い合わせ先

町シルバー人材センター
☎ (0996) 52-3363

年金

移動年金相談所の開設

年金加入記録や受給手続き（障害年金・老齢年金請求）などについての移動年金相談所を開設します。申込みの際、相談者氏名（旧姓）、配偶者氏名（旧姓）、基礎年金番号、相談内容、連絡先などをお知らせください。
※必ず相談時間を予約し、予約した10分前にはご来場ください。

■当日必要なもの

- ・本人確認書類
- ・代理の場合は、委任状と代理者の本人確認書類

※委任状は所定の様式があります。日本年金機構ホームページからダウンロードするか、川内年金事務所、町民環境課町民係、両支所町民福祉係へお問い合わせください。

・日本年金機構ホームページ

年金相談を委任するとき▶



・川内年金事務所
☎ (0996) 22-5276
(自動音声案内①→②)

■日時 4月18日(木) 午前9時30分～午後3時30分

■会場 役場本庁1階相談室B

■申込期間 3月28日(木)～4月11日(木)

令和6年度の国民年金保険料

令和6年度の国民年金保険料は月額16,980円です。

○お問い合わせ先

町民環境課 町民係
☎ (0996) 24-8927

くらしの情報

町のイベントや手続きなど
様々な情報をお知らせします

税金

固定資産税の縦覧と閲覧

納税者が所有する土地、家屋の価格が他の土地、家屋の価格と比べて適正かどうかを縦覧簿により期間限定で確認できます。また、期間中は本人が所有する資産の課税台帳（名寄帳）を閲覧でき、無料で写しの交付を受けることができます。

■期間 4月1日(月)～5月31日(金)
※土日祝日は除く

■縦覧・閲覧できる場所

税務課資産税係、両支所町民生活係

■縦覧・閲覧できる人

固定資産税の納税義務者、その代理人

■手続きに必要なもの

- ・本人確認書類
- ・法人の場合は代表者印
- ・代理の場合は、委任状と代理者の本人確認書類

○お問い合わせ先

税務課 資産税係
☎ (0996) 24-8924

募集

シルバー人材センター 入会説明会

60歳以上の方、まだまだ現役です。続きはシルバーで活かしてみませんか。条件次第では、入会即就業も可能です。参加希望の方はお電話でお申し込みください。当日参加もできます。

今月の読者プレゼント

＼ごはんと相性抜群！／
掘れ惚れ漬



新鮮なタケノコをしょうゆに漬け込みました。おつまみにも最高です。

広報さつまにお便りをくださった方の中から**3名様**にプレゼント。ご応募お待ちしております。

応募方法

住所、氏名、ペンネーム（ない場合は実名で掲載）、年齢、性別、電話番号を記入し、次の宛先までお送りください。

〒895-1803 さつま町宮之城屋地1565-2
さつま町役場 広報さつま 行
メール：ki-koho@satsuma-net.jp

広報紙の感想や身の周りの出来事、イラストや写真など、皆さまの声をお聞かせください。LINEからの応募もOK！

※個人情報の取扱い…お便りのご紹介・賞品発送以外の目的では使用しません。

お便り募集中



応募締切

3/31
(日)

当日消印有効



LINE

お便り紹介

先

日、みやんじよ吹奏楽フェスタを鑑賞させていただきまして。小学生、中学生の演奏、大人と共にすてきな音色を奏でる高校生の音楽にとても感動しました。また、出演者による、ダンスや歌声を聞いて素敵な時間を過ごすことができました。吹奏楽が盛んなさつま町に住んで、生演奏を聞く機会がありとてもすてきな町だと改めて思いました。そろそろ新年度もスタートしますね。また新しいさつま町の行事・子どもの進路計画も兼ねて薩摩中央高校の生徒さんの様子など活躍する姿拝見していきたいです。

（ゆゆんさん）

今年のみやんじよ吹奏楽フェスタも大盛況に終わりました。身近に音楽があると心が豊かになりますね。広報さつままでは薩摩中央高校の生徒さんに限らず、活躍する子どもさんの姿を取り上げていきますので楽しみにしてください。

（小野原）

年

末にさつま町在住の孫ちゃんに発表会を観るため「お邪魔しました。最初の「始めます」の言葉からうるうるでした。歌に踊りにとっても成長した姿に涙でメガネは曇るし、恥ずかしながら顔はくしゃくしゃでした。最高に幸せな鹿児島旅でした。（奥様は魔女さん）

お孫さんの成長を見ることができて何よりです。またお孫さんに会いにさつま町へお越しください。（植園）

訂正とお詫び

2月号の内容に一部誤りがありました。訂正してお詫びします。

5ページ目「水道料金改定」の新しい料金表下段

誤 11.14mの従量料金

正 11.18mの従量料金

2月子牛せり市結果 期日：2月6日(火)、7日(水) (消費税抜き、売却分) 単位：頭・円・kg

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対1月分)
めす	273	131,893,000	1,002,000	483,125	278	34,382円高値
去勢	309	159,387,000	936,000	515,816	305	18,462円安値
合計	582	291,280,000	1,002,000	500,481	293	6,505円高値



出水法律事務所

弁護士 米田 圭吾 (鹿児島県弁護士会所属)

鹿児島県出水市昭和町3-24

☎0996-79-3535

初回の相談は1時間まで無料です。

月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時まで

相続、離婚、借金、労働、交通事故、その他幅広い分野を取り扱っております。お困りのことについて、お気軽にご相談ください。

まずは、お電話でご予約ください。

表紙の写真説明



2月11日、さつまのさ福かざり虎居会場で撮影しました。さるっこやまりのほか、ひな人形にかぶと、桜などが会場を彩り、気分は春満開に。会場近くではぜんざいが振る舞われ、多くの来場者でにぎわいました。私も取材と称して舌鼓を打ち、心も体も温まる一日となりました。(小野原)

訪問リハビリも随時受付中です。

コンディショニングジム・アルク

月会費1,980円・24時間営業

腰痛専門 整体 & ジム

歩行困難 ひざ・肩・手の痛み ダイエット

アルク訪問リハビリサービス

☎08087309592 営業時間 さつま町旭町16-1 8:00~21:00

見積り無料 どこでもがけつきます!

トラクター・重機

トラック・農機具

古くても、壊れてても、不動車でも

どこよりも高く買い取る

ことを目指しています!!

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、又は買取額10%UP致します。

TEL:0986-77-9092

農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号

アヴァンティ 携帯:080-3375-9750 FAX:0986-77-9092

〒885-1105 宮崎県都城市丸谷町 https://kaitorimiyazaki.jimdo.com

SAKURA

・移動スーパー『さくら』

・なんでも屋さん『さくら』

お電話下さい。 草刈り

ご自宅まで、伺います。 枝切り

☎ 090-1929-3016 お掃除

不用品回収

事務所：樋脇町塔之原10859-12

不動産の相続登記・抵当権抹消登記

会社・社会福祉法人・宗教法人等の変更登記

田中司法書士事務所

始良市東餅田 540-2

☎0995-70-0005

夜間・休日も対応します。

さつま町ホームページ

バナー広告募集中!

■掲載料金：8,000円/月 (縦90ピクセル×横180ピクセル)

■1か月のみの掲載、通年の掲載など可能

詳しくは町ホームページをご覧ください。

☎(0996) 24-8919

有料広告募集中

広報さつまでは有料広告を募集しています。掲載の1か月前までに申込みが必要です。掲載料は、1枠1万円/月です。企業や事業所のPRやイメージアップ等にぜひご活用ください。

【お問い合わせ先】
企画政策課 広報文書係
☎(0996) 24-8919



地域探訪



16 二渡新田

二渡地区には、1731年に作られた二渡新田と呼ばれる用水路があり、現在も地域住民が生活用水や農業用水を引くために利用しています。泊野川から取水する4.7kmもの長大な用水路で、3年にわたる大工事の末に完成しましたが、工事の責任者の阿多右衛門忠喬は、当初の予定より多くの資金と時間を費やした責任を取り、切腹しました。用水路は、高低差を誤って作ると水がうまく流れません。そのため、当時は夜間現場のあちこちに下げたちょうちんを目印に、川内川を挟んだ対岸の洞窟から高さを測って指示を飛ばしていたといわれています。洞窟は監督穴と呼ばれ、宮之城島津家の財宝が隠されているという伝説が残っています。

二渡新田のマップ



竹紙を使用しています
(竹パルプ10%配合)

休日在宅医 / 当番薬局

※都合により変更になる場合があります。受診の際は事前に電話で確認してください。

3月			
薩摩郡医師会病院 ☎53-0326	10日	青空薬局 ☎52-0101	
立志クリニック ☎55-9119	17日	フタヤ薬局 ☎59-2033	
てらだ内科クリニック ☎21-3232	20日	さし薬局 ☎21-3610	
宮之城病院 ☎53-0180	24日	ふなき薬局 ☎29-3281	
海江田医院 ☎53-0006	31日	タバタ薬局 ☎21-3344	

※4月以降の休日在宅医と当番薬局は未定です。(2月29日現在)
広報さつま4月号と町ホームページでお知らせします。

人口のうごき

令和6年2月1日現在(前月比)

人口	18,665人 (-67)
男	8,744人 (-24)
女	9,921人 (-43)
世帯数	8,762世帯 (-30)
転入	32人
転出	63人
出生	9人
死亡	45人

通学優先バス

— 臨時便の運行日 —
3月：なし
4月：9日、11日、16日

※臨時便運行日は最終便運休
問 企画政策課 地域振興係